

合格サポート定期便（11 年目標 1 次試験対策 受験経験者向け）4 月号

4 月号の主な番組内容

11 年目標合格に向けた 11 年目標の受講生（受験経験者）を対象とした合格サポート定期便の第 5 回となります。今回は、早坂講師をゲストに迎えて「2 次試験の事例の学習方法」などについてお送りします。

※今後以降実施する模試・講座について以下に記載しますので、ご参照ください。

1 次直前対策講座（1 次オブションゼミ）

http://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_1jichokuzen.html

2 次実力チェック模試

http://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_2jcheck.html

1 次公開模試

http://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_1jkoukai.html

メールの募集について

「合格サポート定期便」は T A C 側からの一方的な情報配信番組ではなく、視聴されている皆さんとコミュニケーションをとりながら、一緒に作り上げていく番組です。

5 月号の予定内容・メールでいただきたいコメント

2 次試験対策担当の三好講師を中心に、事例Ⅰ～事例Ⅳの出題者をゲストに迎え、「2 次実力チェック模試」のフィードバックを行います。

各事例の「80 分の対応法」や「取るべき問題はどれか」などについてお伝え致します。

《5 月号の募集メール内容》

「2 次試験の事例の学習方法」などに関するご質問を引き続き、受け付けております。また「合格サポート定期便」で取り上げて欲しいテーマや情報、「番組の感想やご意見」など、皆様の声についてもぜひお聞かせください。

皆さまのご意見お待ちしております。

【メール受付期間】

随時受け付けております。主に 2011 年 5 月 9 日（月）24：00 までにいただいたメールについて、次号でご紹介していきます。

【メール送付の方法】以下の案内に沿ってメールをお送りください。

- ・ 送付先メールアドレス：shindan-support@tac-school.co.jp
- ・ メールタイトル：「合格サポート定期便係」と記載してください。
- ・ 本文：

- ① 会員番号・お名前を記載してください。なお、番組内で採用されたメールは、お名前を公表します。匿名やペンネームなどの希望があれば併記してください。



- ② 教室講座・DVD講座の方は受講している校舎名（仙台校、新宿校など）、通信講座の方は利用している学習メディア（Web通信、DVD通信など）を記載してください。
- ③ メッセージの書式は自由です。一度にたくさんのコメントをいただいても、一言だけでも結構です。

【ご注意事項】

- ・ ラジオ番組の葉書と同様、いただいたメールに関する回答は番組内でのみ行います。個別にメール返信は行いませんのでご了承ください。
- ・ 学習内容に関するご質問にはお答えできませんのでご了承ください。

以上

■演習の振り返り方（経験者向け）

講師室・早坂

★目標は高く！徹底的に原因追求をする！

WS1

1 年後に 1 人で海外旅行に行こうとして、英語の勉強をしようとした S さんですが、結局は三日坊主で終わってしまいました。考えられる原因は？

○S さんが立てた目標

1 日、英語を 3 時間勉強する。

①

②

③

それぞれで対策が異なる！

→これを見極めないと方向性がずれてしまいます！！

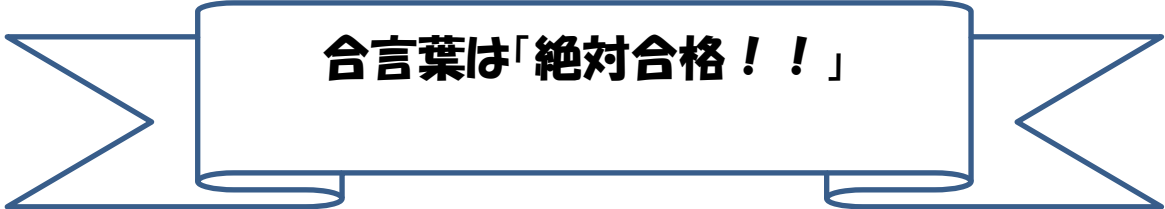
WS2

レジュメにある A さんのエラーは？（養成演習②より）

養成演習②は 90 点以上取っている方もいらっしゃいました。

「絶対無理！」ではなく、「どうしたら取れるのか？」を徹底的に考えましょう。

その上で原因追求→解決策を見い出してください。



合言葉は「絶対合格！！」

【参照資料】

○4 年掛かって合格した H さんの体験談。

・2 年目…解答はすべて埋まっている。

得点はそれほど悪いわけではないが特別良いというわけでもない
(上位 15~20% くらい)。

→不合格 (ABBA=B 評価)

→原因は、「無難過ぎ」⇨B 評価製造マシンになっていた。

・3 年目…あまり勉強できなかったのが割愛。

・4 年目…80 分のプロセスを完全に修正

解答用紙の左側は時間はそこそこ

→時間を掛けても差が付きにくい問題が多いことに (やっと) 気づく。

→自分は、解答用紙の右側 (第 4 問、第 5 問など) でほとんど得点できていないこ
とに (かつ、それがあまり良い状態ではないことに、やっと) 気づく。

→解答用紙の右側に十分な時間を掛けることを心掛ける。

<80 分のプロセス比較>※時間は目安ですが、おおよそこんな感じ。

2 年目	4 年目
<設問分析> 0~7 分	<設問分析> 0~5 分
<大枠把握> 7~15 分	<大枠把握> 5~10 分
<対応付け> 15~30 分	<対応付け> 10~15 分
<各設問> ・第 1 問…30~40 分 ・第 2 問…40~55 分 ・第 3 問…55~65 分 ・第 4 問…65~75 分 (分析足りず) ・第 5 問…75~80 分 (書き殴り)	<各設問> ・第 1 問…15~25 分 ・第 2 問…25~40 分 ・第 3 問…40~55 分 ・第 4 問…55~70 分 ・第 5 問…70~80 分

○目標…解答用紙の右側 (第 4 問、第 5 問)でも十分に点を取る！

○改善策…開始 15 分までの間に余計なことをダラダラとやらない。

※これはあくまでも個人の経験に基づく参考資料です。

皆さんにとっての最良の改善策を見つけてください！

